

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 20日

長野県知事 様

提出者

住 所 長野県須坂市大字須坂851

氏 名 須坂土建工業株式会社 山崎喜彰

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-245-0383

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	須坂土建工業株式会社
事業場の所在地	長野県須坂市大字須坂851
計画期間	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	¥2,000,000,000
③従業員数	29人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物発生→自社運搬・収集運搬委託→中間処理・最終処分

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役社長→土木部長・建築部長・住宅部長→各部現場代理人

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙1	別紙1	
	排 出 量	別紙1	t	別紙1
			t	t
	(これまでに実施した取組)			
	混合廃棄物を減らすよう分別する。			
②計画	【目標】 混合廃棄物を減らすよう分別する。			
	産業廃棄物の種類	別紙1	別紙1	
	排 出 量	別紙1	t	別紙1
			t	t
	(今後実施する予定の取組)			
	混合廃棄物を減らすよう分別する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物を減らすよう分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物を減らすよう分別する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t t
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	別紙1		別紙1	
	全処理委託量	別紙1	t	別紙1	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t		t	
	再生利用業者への処理委託量	別紙1	t	別紙1	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t		t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t		t	
	(これまでに実施した取組)				
	混合廃棄物を減らすよう分別する。				

(第5面)

②計画	【目標】 混合廃棄物を減らすよう分別する。				
	産業廃棄物の種類				
	全処理委託量	別紙1	t	別紙1	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t		t	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙1	t	別紙1	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t		t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t		t	
	(今後実施する予定の取組)				
混合廃棄物を減らすよう分別する。					
※事務処理欄					

別紙1

年度産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

実績：前年度産業廃棄物排出量
計画：当年度産業廃棄物排出量の目標値

単位：t

産業廃棄物の種類	年度産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）										処理の委託												
	焼却排出量		自らが再生利用を行った（行う）量		自らが中間処理を行った（行う）量		自らが焼却を行った（行う）量		自ら行う中間処理		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量		全処理委託量		委託処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		特定回収業者への処理委託量		特定回収業者以外の処理委託量		
	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	
1 燃え殻																							
2 汚泥																							
3 廃油	0.018																						
4 廃薬																							
5 廃アルカリ																							
6 廃プラスチック類	11.15	14.091																					
7 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	86.321	5.6685																					
8 金属くず	1668.6	2143.32																					
9 がねくず	0.74	11.32																					
10 家電ふんば																							
11 家電の死体																							
12 動物系固形不燃物																							
13 ばいじん																							
14 処分するために処理したもの																							
合計	1,799.00	12,188.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,799.00	12,188.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※ 焼却排出量=自ら再生利用を行った（行う）量+自ら中間処理により減量した（する）量+自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量+全処理委託量

【記載方法】

- ・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の左に前年度の実績（現状）を右に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、「産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、右欄にそれぞれの内訳を記載してください。
- ・「自ら再生利用を行った（行う）量」の欄は、「自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した量と自ら埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した量と自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量」は、「自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した量と自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。